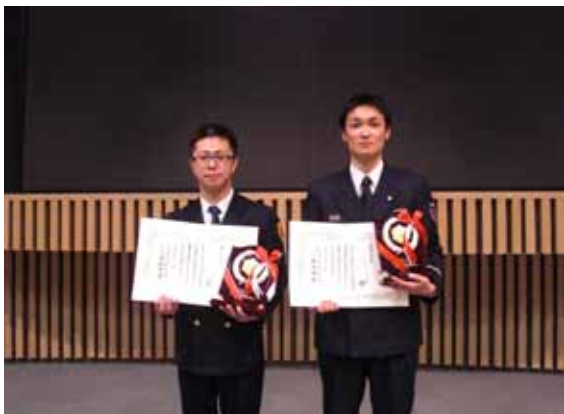


祝 『平成23年度渡島・檜山管内消防職員意見発表会』

於：平成24年2月7日(火)函館競輪場2Fテレシアター



最優秀賞に選ばれ全道大会へ望む2名。(左：厚沢部消防署 / 柴田直行・消防副士長
右：函館市消防本部・消防士長 / 大良信哉さん) 全道大会：4月25日(札幌市)

檜山管内からは、昨年度全国大会で2位の成績を修めた、奥尻消防署の三浦 浩・消防副士長に続き2年連続の受賞となりました。

今年度の発表テーマは、『～年後の安全』・“ 生み出せ ” 『危機の時代』の消防士・『小さな命』・『絶望から明日へ』 『命の絆』 『3つのありがとう』 『光を求めて・・・』 『里帰り出産できる町に』 『ことば遣い』 『未来への命の連鎖』 『感謝』 と、東北大震災への【絆】をテーマに取り上げた内容や、消防士の【自覚】と【経験】の重要性、過去の【体験談】から学ぶべきもの等、様々な角度からの貴重な意見発表となりました。



柴田副士長は、檜山管内医療機関の産婦人科の実態から「出産難民」という言葉をもとに、妊婦さんの様々な情報のほか、前置胎盤や双胎妊娠といったハイリスク妊娠を事前に把握できる『妊婦エントリーネット119』をスタートさせた経過。

そしてその登録者が7割に昇った成果と「不安感」の緩和や、「妊婦さんの声」を最優先した取り組み、「顔の見える環境の築き上げ」等を発表しました。 本部記